

不滅の炎 40周年

少年野球チーム東郷ファイヤーズ

皆さんは、地域の少年野球チームの活躍を見たことがありますか。

今回は、昭和53年に発足し、40年にならって地域の子どもらに野球の楽しさを伝えていく東郷ファイヤーズの話、現在総監督を務めている谷山直美さんに聞いてきました。

「やる気・元気・勇気」が合言葉

東郷ファイヤーズは、発足当時は傍示本ファイヤーズという名称でした。PTAの要望を受けて、子ども会の役員が中心となって立ち上げたのが始まりのことです。

「少年らしく、元気よく、熱く燃えて頑張るチームを目指したと聞いています」と谷山さん。

その後、傍示本ビクターズ、和合キングス、北山パンサーズと3回の合併を経て、東小ファイヤーズと名称を変えたのち、現在の東郷ファイ

ヤーズという名称で活動するようになりました。

「名前が変わっても志は変わらない。『やる気・元気・勇気』を合言葉に、子どもたちの成長を後押ししていきます」と谷山さんは力強く話しました。

廃部の危機を乗り越えて

練習環境の充実や父母の負担軽減を目的に、平成12年に、父母会のOBが事務局を立ち上げました。

部員が減少傾向にあり、平成13年度の廃部の危機を救ったのも事務局と父母会でした。

チーム一丸となり部員の募集を粘り強く行ったことで、部員が徐々に増え、平成21年度には部員が55人で過去最高となりました。

「危機を乗り越えて、約290人の子どもらがチームを卒団していった。親子2代にわたって活躍している人もたくさんいるね」と話す谷山さんは、誇らしげな表情でした。

子どもたちの成長を願う

「たくさんのお母様がスタッフとして参加してくれるおかげで、各学年でき

め細かく充実した練習ができ、常に町大会で優勝を競

えるチームになりました」と谷山さんは感謝します。

しかし、チームには成績よりも大切に行っていることがあります。子どもの心身の健やかな成長です。

「全部員をわが子と思い、野球の楽しさを伝えることはもちろん、協調性や挨拶などの礼儀作法、思いやり、感謝の気持ちを学ぶよう指導しています」と話す谷山さんは、心の底からチームと子どもを大切にしていると感じました。

チームはこれからも事務局、父母会、監督やコーチなどのスタッフとともに、地域の子どもの心に明るい灯をともし続けることだしょう。

チームは東郷小学校を中心に活動していて、部員を募集中です。

見学や体験入部も歓迎。詳しくは谷山さん ☎0900・9890・0272にお問い合わせてください。



そだ 育っています! No. 424

あつという間に、大きくなったね。いつも元気いっぱい遊んで、いっぱい食べて、パパとママを笑顔にしてくれるね。

優という名前のとおり、誰に対しても優しく、笑顔で周りを明るくして行ってね。

これからも一緒に笑って、たくさんの思い出をつくろうね。家族3人で釣りに行こう!



ゆう 優くん(1歳)

櫻木 大輔さん・里沙さんの長男 (傍示本)